

平成 29 年度地域貢献活動Ⅰ ～ナマコ放流体験～

地域貢献活動の一環で健康栄養学科の1年生と、「チームガンガゼ」サークルが、平成29年9月22日に川内市漁協青壮年部「海を守る会」の主催・協力のもと、ナマコ放流に参加しました。

この活動は、様々な要因で「藻場」が消失している磯焼け問題に取り組んでいる水産庁の水産多面的機能発揮対策事業として行ったものです。

ナマコは砂の中の不純物を食料とし、きれいな砂を吐き出すことで、海の環境を整えるため磯焼け対策につながります。今回は赤ナマコ・青ナマコ・黒ナマコの3種類約3000匹を川内港唐浜沖に放流しました。川内の海が豊かになり、魚の住処である藻場が早く再生され、放流したナマコたちが川内の海にまた戻ってきてほしいと願いながら海に返してあげました。

昼食には漁師さんたち手づくりの豪華な海鮮丼や握り寿司、刺身や伊勢海老の味噌汁など、魚三味の漁師飯をたくさんごちそうになりました。運良く甕島で養殖されている黒マグロの解体も間近で見る機会にも恵まれ、部位の説明や各部位の試食など、貴重な体験をさせていただきました。

本活動を通して、地球温暖化問題や海の環境の深刻さを肌で感じ、地球環境を守ることは、地球に住んでいる私たち一人ひとりの務めであることの認識を新たに、大変有意義な活動となりました。川内漁協青壮年部の皆さまに心より感謝申し上げます。



ナマコの放流活動



漁師さん手づくりの漁師飯



アイゴのみそ焼



新鮮なお刺身



和やかに会食中！



勉強会の様子



甕島の黒マグロ